

平成22年度第1回平塚市美術館協議会 会議録

開催日時 平成22年10月27日(水) 14時30分～15時40分
開催場所 平塚市美術館 研修室
出席者 (敬称略)
副会長 滝波 重人
委員 木下 一士、今関 健司、平野恵美子、野島 健二、大橋千賀子
事務局 草薙 館長、小澤副館長、土方館長代理、伊藤主管、
小池学芸員、勝山学芸員、江口学芸員、安部学芸員

傍聴者 なし

会議の概要

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員紹介
- 4 職員紹介
- 5 議題

(1) 平成22年度事業報告

I 展覧会、II 作品・資料、III 教育普及活動、IV その他の事業、V 施設の管理について各担当から報告する。

[質疑応答]

- 委員 現在開催中の磯江毅展は好評だがプロから見た評価を伺いたい。また、施設利用について利用者数が少ないように思われるが。
- 事務局 磯江毅は本格的な油彩技術を受け継いでおり、専門家が見入るほどである。施設利用については、市民アートギャラリーは一団体の貸出期間が週単位(六日間)となっており、利用申し込みは、抽選を行うほど盛況である。ミュージアムホールは主に土曜日・日曜日にピアノの発表会等で利用されている。アトリエについては、平成18年より積極的にピーアールしており利用者は少しずつ増加している。
- 委員 長谷川澁二郎展・磯江毅展は、埋もれていた作家を掘り出したという観点からすると成功だったと思う。また、堀文子展での作家との対談時、マイクの音量が悪く聞きづらかったと聞いている。
- 事務局 現在、美術館ではピンマイクはないが、今後対談等を行う場合は必要なものと考えている。
- 委員 学校観覧について数が少ないようだが。
- 委員 授業数のしぼりがあるため、近くの学校しか来ることができない。
- 事務局 市外から夏休み期間中に、バスにて自動車工場を見学後に来館するケースが多い。
- 委員 数年前の宮沢賢治展に来館した。その時には博物館とのコラボレーションがすばらしかった。
- 事務局 今後も連携をはかりたい。
- 委員 磯江毅展のように、すぐれた企画をやれば人は来るものである。画学生やプロの作家が見に来るのも分かる。

(2) 平成22年度後期事業(案)

I 展覧会、II 教育普及・その他の活動について各担当から報告する。

・質疑応答は特になし

(3) その他

[質疑応答]

- 委員 美術館駐車場のバスの収容台数は。
- 事務局 大型バスは3台が収容可能となっている。
- 委員 車で来てもなかなか駐車できない。
- 事務局 美術館駐車場は図書館・博物館の共用駐車場となっていることもあり、他の施設で事業を行っている場合に満車となる可能性がある。先日も、堀文子展で作家本人との対談があったが満車が予想されたため、合同庁舎駐車場を借りて対応した。
- 委員 携帯機器の展覧会情報の中で、各館のポスターが見れるようになっている。残念ながら平塚市美術館のポスターが掲載されていなかった。
- 事務局 今後、ポスターを掲載する予定である。

次回の協議会は23年3月に予定。

以 上